令和3年度 事 業 報 告

I. 公益関係事業

(1) 税制税務に関する研修会・説明会

開催日	研修会名	会 場	参加人数
		中 止	
令和3年4月	決算法人説明会	(新型コロナウイルス	
		感染対策のため)	
4月	新設法人説明会	IJ.	
6月	決算法人説明会	II .	
6月	新設法人説明会	II	
9月	決算法人説明会	II .	
9月	新設法人説明会	II .	
10月13日	インボイス制度セミナー	秋田ビューホテル	38名
12月14日	決算法人説明会	秋田ホテル	40名
12月14日	新設法人説明会	II .	5名
令和4年2月9日	税についての総合研修会	イヤタカ	43名

(2) 児童・生徒に対する税の啓発活動

イ. 租税教室(青年部会)

開催日	学	校 名	人数		講師
令和3年 11月9日	秋田市立	旭川小学校	92名	(講師)	進藤部会長
令和4年 1月18日 (新型コロナウイルス 感染症対策のため中止)	秋田市立	大住小学校	88名	(講師)	伊藤副部会長 田口副部会長 石黒副部会長
1月24日 (新型コロナウイルス 感染症対策のため中止)	IJ	上北手小学校	42 名	(講師)	進藤部会長石黒副部会長
1月25日	n,	戸島小学校	19名	(講師)	加賀屋副部会長

※秋田地区租税教育推進協議会の構成団体として、青年部会・女性部会が講師を務め、各小学校 6 年生を中心に、税の大切さ、税の使われ方などを指導した。

ロ. 税に関する絵はがきコンクール(女性部会)

応募校並びに応募枚数

		学 校 名	応募枚数
1	秋田市立	御所野小学校	9 7
2	"	旭川小学校	5 9
3	"	東小学校	8 4
4	"	築山小学校	2 8
5	<i>II</i>	川尻小学校	5 6
6	<i>II</i>	中通小学校	2 5
7	11	旭北小学校	4 7
8	<i>II</i>	泉小学校	3
9	11	広面小学校	9 2
10	11	上北手小学校	3 2
11	11	日新小学校	1 3 4
12	"	戸島小学校	1 9
13	<i>II</i>	雄和小学校	2 9
14	11	桜小学校	2
15	11	浜田小学校	1
16	秋田大学教	数育文化学部附属小学校	4
		計	7 1 2

※絵はがきコンクール優秀作品(秋田南法人会 女性部会 入賞作品)

賞	小学校名	税に関する標語
県連女連協会長賞 最優秀賞	泉小学校 O・M さん	税金の花を咲かせて 幸せな笑顔あふれるくらしへ GO! (東北六県連へ推薦)
秋田南税務署長賞	秋田大学教育文化学部 附属小学校 A・R くん	税金は国を支える

優秀賞	御所野小学校 I・Jさん	税はみんなを支える!
"	御所野小学校 K・N さん	税で幸せな暮らしを
"	東小学校 M・A さん	「税金」は様々なところで使われています。
n,	上北手小学校 Y・R くん	税金で笑顔あふれる町づくりを
n,	中通小学校 T・T さん	税金は今も未来を支えてる
11	広面小学校 T・K さん	税金は、安心・安全で快適な社会をつくる
"	広面小学校 M・K さん	税で街も心もスッキリ
"	旭川小学校 K・Yさん	みんなの税で安心安全な町づくり
II	旭北小学校 M・M さん	税金がみんなの「笑顔」

※当会並びに他団体が開催した租税教室開催校に対して、「税」に関する自分の思いや考えを「絵」と「短い文章」で表現する「税の絵はがきコンクール」を開催。上記のとおり16校から712通の応募があった。応募作品は2月8日に審査会を開催し、入賞作品に対して表彰状と図書カードを贈呈したほか、応募者全員に法人会グッズ(多機能ボールペン)を贈呈。

応募作品の全てを秋田駅ぽぽろーどに展示した(2月18日~2月28日)。

ハ. 税を学ぶ親子イベント 「 税金ウルトラクイズ 」 (開催中止)

(青年部会)

開催予定日 令和4年2月19日(土)

場 所 秋田拠点センター「アルヴェ」きらめき広場

※子供に税の大切さを楽しみながら知っていただき、家庭で税について親子で話し合う時間をもつきっかけにしていただくことを目的に、「税金ウルトラクイズ」を開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開催を中止した。

(3) 税制提言活動

公益財団法人 全国法人会総連合の「令和4年度税制改正に係る提言書」に基づき、当会の 武田税制委員長が秋田県、秋田県議会、衆参両議員に対して以下の提言活動を行った。

(秋田県連主管)

提言の内容は下記のとおり。(一部抜粋)

1. 法人税関係

- (1) 役員給与の損金算入の拡充
 - ①役員給与は原則損金算入とすべき

現行制度では、役員給与の損金算入の取り扱いが限定されており、とくに報酬等の改定には厳しい制約が課せられている。役員給与は、本来、職務執行の対価であり、原則損金算入できるよう見直すべきである。

②同族会社も業績連動給与の損金算入を認めるべき

経営者の経営意欲を高め、企業に活力を与える観点から、同族会社における役員の業績 連動給与についても、一定の要件のもと、損金処理を認めるべきである。

(2) 交際費課税の適用期限延長

交際費課税の特例措置については、適用期限が令和4年3月末日までとなっていることから、その延長を求める。

(3) 欠損金繰戻還付の特例の適用期限延長

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置では、資本金の額が1億円超10億円以下の中堅企業も青色欠損金の繰戻し還付制度を適用することが可能となった。その適用期限が令和4年1月末日までとなっていることから、延長を求める。

2. 所得税関係

- (1) 所得税のあり方
 - ①基幹税としての財源調達機能の回復

所得税は重要な基幹税の一つであるが、各種控除の拡大などにより空洞化が指摘されている。基幹税としての財源調達機能を回復するためにも、所得税は国民が能力に応じて 適正に負担すべきである。

②各種控除制度の見直し

各種控除は、社会構造変化に対応して合理的なものに見直す必要がある。とくに、人的 控除については累次の改正の影響を見極めながら、適正化を図るべきである。

③個人住民税の均等割

地方税である個人住民税の均等割についても、応益負担原則の観点から適正水準とすべきである。

(2) 少子化対策

少子化対策は、保育所の充実など本来的には国及び地方自治体が財政・行政面で総合的 な施策を講じることが肝要であり、子育て支援等の税制上の支援措置はその一環として 検討すべきである。

3. 相続税·贈与税関係

- (1) 現在、政府等において、「資産移転の時期の選択に中立的な税制」の構築に向け、相続税 と贈与税をより一体的に捉えて課税することが検討されている。制度を見直すに当たって は、格差拡大を防止することに留意する必要はあるが、税負担が今以上に重くならない仕 組みとすべきである。
- (2) 制度が見直されるまでの間、贈与税は経済の活性化に資するよう見直すべきである。
 - ①贈与税の基礎控除を引き上げる。
 - ②相続時精算課税制度の特別控除額(2,500万円)を引き上げる。

4. 地方税関係

(1) 固定資産税の抜本的見直し

令和3年の全国の公示価格は、コロナの影響等により6年ぶりに下落した。こうした事態を受けて令和3年度税制改正においては、固定資産税の税額が増加する土地について前年度の課税標準額に据え置く措置が講じられた。令和4年度においてもコロナ禍の影響はまだ残るとみられており、令和3年度改正と同様の措置が必要である。さらに、都市計画税と合せて評価方法および課税方式を抜本的に見直すべきである。

また、固定資産税は賦課課税方式であり、納税者自らが申告するものではないことから、 制度に対する不信感も一部見受けられる。地方自治体は、税の信頼性を高めるための努力が必要である。

- ①商業地等の宅地を評価するに当たっては、より収益性を考慮した評価に見直す。
- ②家屋の評価は、経過年数に応じた評価方法に見直す。
- ③償却資産については、納税者の事務負担軽減の観点から、申告対象外となる「少額資産」 の範囲を国税の中小企業の少額減価償却資産(30万円)にまで拡大するとともに、賦 課期日を各法人の事業年度末とすること。また、諸外国の適用状況等を踏まえ、廃止を 含め抜本的に見直すべきである。
- ④固定資産税の免税点については、平成3年以降改定がなく据え置かれているため、大幅 に引き上げる。
- ⑤国土交通省、総務省、国税庁がそれぞれの目的に応じて土地の評価を行っているが、行 政の効率化の観点から評価体制は一元化すべきである。
- (2) 事業所税の廃止

市町村合併の進行により課税主体が拡大するケースも目立つ。事業所税は固定資産税と 二重課税的な性格を有することから廃止すべきである。

(3) 超過課税

住民税の超過課税は、個人ではなく主に法人を課税対象としているうえ、長期間にわたって課税を実施している自治体も多い。課税の公平を欠く安易な課税は行うべきでない。

(4) 法定外目的税

法定外目的税は、税の公平性・中立性に反することのないよう配慮するとともに、税収 確保のために法人企業に対して安易な課税は行うべきではない。

5. その他

(1) 配当に対する二重課税の見直し

配当については、現行の配当控除制度で法人税と所得税の二重課税の調整が行われているものの不十分であり、さらなる見直しが必要である。

(2) 電子申告

国税電子申告(e-Tax)の利用件数は年々拡大してきているが、さらなる促進を図る観点から、制度の一層の利便性向上と、地方税の電子申告(eLTAX)とのシステム連携を図る必要がある。

(4) 経営支援活動(経営・会計に関する研修会)

開催日	研修会名	会 場	参加人数
令和3年4月9日	新入社員セミナー	秋田キャッスルホテル	80名
6月22日	総務の基本と実務セミナー	ホテルメトロポリタン秋田	36名
9月15日	仕事力強化セミナー	イヤタカ	29名
12月 7日	クレーム対応セミナー	秋田キャッスルホテル	33名
令和4年3月2日	電子契約書作成セミナー	イヤタカ	27名

(5) 広報活動

- イ. 適格請求書保存方式(インボイス制度) 導入に関する冊子・チラシ配布
- ロ. マイナンバーカードの取得推進、e-Tax利用推進等のパンフレットの配布
- ハ. 新聞・ホームページを利用した税情報の配信、研修会・セミナー等の開催周知
- ニ. 全法連広報誌「ほうじん」の配布4回
- ホ. 確定申告期における各種税情報のPR
- へ. 法人会ニュースの発行

(6) 記念講演会

イ.講師 株式会社宮崎中央新聞社 代表 日本講演新聞 編集長 水 谷 もりひと 氏

演 題 「 感性のアンテナを立てて 新しい時代を生きる 」

日 時 令和3年5月12日(水) 午後3時~

場 所 秋田キャッスルホテル

ロ.講師 キャスター・俳優 葛城 奈海 氏

演 題 「国と自然を守るということ」

日 時 令和3年11月4日(木) 午後3時~

場 所 ホテルメトロポリタン秋田

Ⅱ. 共益・収益関係事業

(1) 会員・役員

会員 会員数 1,532 社 (令和4年3月31日現在)

役員 理事 45名(会長1名、副会長5名)

監 事 3名

(2) 福利厚生制度の加入状況

制度	会員数	加入数	加入率%	前年比	引受会社
経営者大型保障制度	1, 532 社	283 社	18. 5%	-10 社	大同生命保険(株)
胜当有八生怀摩顺反	1, 552 11.	200 任.	10. 5/0	10 行.	AIG 損害保険(株)
ビジネスガード	"	197 社	12. 9%	+19 社	AIG 損害保険(株)
がん保険制度	II	202 社	13. 2%	-3 社	AFLAC
医療保険制度	"	110 社	7.2%	±0 社	AFLAC

(3) 表 彰 関 係 (敬称略)

イ. 第52回 優良経理担当者表彰

受彰者 佐藤 千栄子 秋田ステーションビル(株)

齋 藤恵中央土建(株)鈴 木 啓 介山岡工業(株)

石 川 睦 美 (株) 秋田クボタ

倉 内 仁 美 (株)アキタ保険

石 橋 希 望 エス・プロジェクト (有)

堀 井 芽 衣 (有)トータルコンスト

口. 福利厚生制度推進担当者表彰

受彰者 大同生命保険(株)きた東北支社 秋田営業部

第一営業課 虻 川 文 子

″ 藺 藤 なつみ

AIG 損害保険(株)秋田支店

P C A 社員 千 田 竜 一

代理店 (株) ケツァール

代表取締役 加藤隆志

代理店 OIサポート 春 日 圭

アフラック生命保険(株) 秋田支社

代理店 協和石油(株) 小川修

ハ. 福利厚生制度マスター制度表彰

受彰者 大同生命保険(株)きた東北支社 秋田営業部

第一営業課 仙 波 典 子

Ⅲ. 管理関係

諸会議の開催

イ.親会関係

会 議 名	開催日	会 場	案 件
監査会	R3. 4. 16	法人会事務局	・令和2年度決算諸表の監査
第1回 理事会	4. 27	イヤタカ	・令和2年度事業報告承認の件・令和2年度収支決算書承認の件・任期満了に伴う役員改選の件
第2回 理事会	5. 12	秋田キャッスルホテル	・正副会長の選任について

会 議 名	開催日	会 場	案 件
令和3年度 定時総会	5. 12	秋田キャッスルホテル	・令和2年度事業報告承認の件・令和2年度収支決算承認の件・任期満了に伴う役員改選の件
第1回 正副会長会議	9. 13	ポンレヴェック	・令和3年度会員大会について
第3回 理事会	R4. 3. 29	ホテルメトロホ。リタン秋田	・令和4年度事業計画(案)承認の件 ・令和4年度収支予算(案)承認の件 ・令和4年度定時総会招集の件

口. 青年部会

会議名(行事名)	開催日	会 場	内 容
役員会	R3. 6. 25	イヤタカ	・令和2年度事業報告、決算報告について ・令和3年度事業計画、予算見込みについて ・役員改選について ・令和3年度租税教育活動について ・健康経営プロジェクトについて
定時報告会	7. 9	イヤタカ	・令和2年度事業報告並びに収支報告・令和3年度事業計画並びに予算見込・役員改選について
役員会	12. 8	イヤタカ	・租税教室について ・租税教育イベントの開催可否について

ハ. 女性部会

会議名 (行事名)	開催日	会 場	内 容
定時報告会	R3. 4. 21	濱乃家	・令和2年度事業報告、決算報告について ・令和3年度事業計画、予算見込みについて ・役員改選について
税に関する絵はがき 募集活動	11.1~ R4.1.31	管内全小学校	・税に関する絵はがきコンクールの説明 並びに募集活動
税に関する絵はがき 審 査 会	R4. 2. 8	卸センター会議室	・令和3年度税の絵はがきコンクール審査
税に関する絵はがき 展 示	2. 18~ 2. 28	ぽぽろーど	・税に関する絵はがきコンクール 全応募作品の展示

二. 会議出席等

会 議 名	開催日	会場	出席者
全法連 事務局長会議	R3. 4.9	リモート参加	今野事務局長
全法連 女性フォーラム (新潟大会)	4.15	延期	
アフラック推進会議	4.19	リモート開催	石黒厚生委員長ほか
県法連 理事会	5.26	書面決議	
県法連 定時総会	5.26	IJ	
全法連 理事会	5.31	リモート参加	藤井会長
全法連 青連協定時連絡協議会	6. 2	ハイアットリージ゛ェンシー東京	進藤協議会長
全法連 理事会	6.15	リモート参加	藤井会長
六県連 理事会	6.25	リモート参加	藤井会長
全法連 事業研修委員会	7.8	リモート参加	吉田研修委員長
六県連 女連協代表者会議	7. 9	リモート開催	大内協議会長
全法連 税制委員会	7.15	リモート参加	武田税制委員長
県法連 青連協部会長会議	7.21	秋田ホテル	進藤協議会長ほか
六県連 青連協代表者会議	7.27	福島・Jヴィレッジ	進藤協議会長
六県連 事務局長会議	7.30	リモート開催	今野事務局長
全法連 事務局長会議	8.31	リモート参加	今野事務局長
全法連 税制委員会	9. 7	リモート参加	武田税制委員長
六県連 事務局長会議	9.10	リモート開催	今野事務局長
全法連 理事会	9.21	リモート参加	藤井会長
県法連 青連協合同研修会	10. 1	令和4年度に延期	
全法連 全国大会 (岩手大会)	10.10	リモート開催	藤井会長ほか
アフラック推進会議	10.22	リモート開催	石黒厚生委員長ほか

会 議 名	開催日	会 場	出席者
租税教室講師養成講座	10.28	秋田南税務署	進藤部会長
全法連 女性フォーラム (新潟大会)	11.16	新潟・朱鷺メッセ	大内協議会長ほか
六県連 運営協議会	11.17	リモート参加	藤井会長
全法連 青連協連絡協議会	11.25	佐賀市文化会館	進藤協議会長
全法連 全国青年の集い(佐賀大会)	11.26	JJ	進藤協議会長
六県連 事務局職員研修会	12. 3	リモート開催	今野事務局長、今野職員
全法連 事務局長会議	12.10	リモート参加	今野事務局長
県法連 厚生委員会	12.17	ホテルメトロホ。リタン秋田	石黒厚生委員長
卸センター新年会	R4. 1.14	秋田キャッスルホテル	石黒副会長
全法連 新年賀詞交歓会	1.19	中 止	
全法連 事業研修委員会	2. 3	リモート参加	吉田研修委員長
六県連 青年部会代表者会議	2. 4	中 止	
県法連 絵はがきコンクール審査会	2.8	卸センター会議室	大内女連協会長ほか
秋田南税務関係団体協議会 例会	2. 9	イヤタカ	藤井会長
六県連 事務局長会議	2.10	リモート開催	今野事務局長
全法連 税制セミナー	2.15	リモート参加	武田税制委員長
六県連 女性部会代表者会議	2.15	ホテルメトロホ [°] リタン仙台	大内協議会長
全法連 税制委員会	2.16	リモート参加	武田税制委員長
全法連 事務局セミナー	3. 4	リモート参加	今野事務局長・今野職員
全法連 厚生委員長会議	3.23	リモート参加	石黒厚生委員長
全法連 理事会	3.24	リモート参加	藤井会長
県法連 理事会	3.29	ホテルメトロホ。リタン秋田	藤井会長ほか8名